

JA 東びわこ 用語集

当 JA の資料等で使用する用語の主な語意は次のとおりです。

| 語句 | 意味 |
|--------------------------|---|
| インバウンド需要 | 日本に訪れた外国人の日本国内で生み出された商品やサービスの需要のことです。 |
| LINE (ライン) | スマートフォン、パソコン等で使用できる無料のコミュニケーションツールのことです。メッセージの送受信、通話や写真・動画のやり取りができます。 |
| Instagram (インスタグラム) | 主に写真や動画を投稿できる SNS サービスの 1 つです。 |
| SNS (エス・エヌ・エス) | ソーシャルネットワークサービスの略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのことです。 |
| 周年供給対策 | 市場への供給量を調整し計画的に販売することで、米の需給を安定させる対策です。長期計画的販売を行った場合に国から保管料等の経費助成を受けることができます。 |
| 営農経済事業 成長効率化 プログラム | 経営基盤の強化と組合員への利益還元を優先に、営農・経済事業の収支改善や効率化に取り組むプログラム。令和 2 年度から取り組みをはじめています。 |
| SDG s (エス・ディー・ジーズ) | 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。 |
| フードロス | 本来はまだ食べられるものなのに捨てられてしまう食料のことです。 |
| フレッシュミズ | J A をよりどころに、食や農業に関心のある若い世代の女性 (おおむね 4 5 歳くらいまで) が集まった組織。料理教室や農業体験、農業や農産物加工の技術習得等、さまざまな活動を通じて楽しく交流し、そして学びあっていく組織です。また、J A 女性組織のベテランとともに活動することで、食や農、暮らしに関する技術や知恵の習得にも努めています。「フレミズ」と略す場合もあります。 |
| パブリシティ活動 | 情報提供やインタビューへの応対等を通じ、報道として自組合に関する内容を取り上げてもらう活動のことです。 |

| | |
|--|--|
| アグリマイティ資金 ／ 近代化資金 | 施設の取得・拡張、設備・器具購入から短期の運転資金まで、農業に関するあらゆる資金ニーズに対応できる JA 独自の長期貸出資金のことで す。／農業経営改善のための長期で低利な制度資金です。施設の取得・ 拡張、設備・器具購入、長期運転資金など幅広い資金調達をサポートで きる資金のことで |
| ニューパートナー | 共済契約の責任開始日時点で同一組合内に同一の契約者が存在しない契 約者のことを言います。 |
| スケールメリット | 規模が大きくなるにつれて生産性や経営効率が上がることを言います。 |
| インショップ | ショッピングセンター等の売り場内に独立した専門の売り場を設置する ことです。 |
| 内部統制システム | 業務の有効性及び効率性、財務報告の信頼性、事業活動に関わる法令な どの遵守並びに資産の保全の 4 つの目的が達成されているとの合理的な 保証を得るために、業務に組み込まれ、組織内の全ての者によって遂行 されるシステムです。 |
| キャッシュ・フロー | 一定期間に企業や自治体などの経済主体に入る資金（キャッシュインフ ロー）と出ていく資金（キャッシュアウトフロー）の総称。また、その 差として求められる、資金の増減。財務の健全性を示す指標の一つとし て用いられます。 |
| ALM/ ポートフォリオ/ リスクヘッジ/ トレーディング | 金融商品の取り扱いに係る銀行・証券会社等の専門用語です。ALM は資 産負債の総合管理の意味です。ポートフォリオは、保有する金融商品の 組み合わせの意味です。トレーディングは有価証券等を売買することを 言います。 |
| リスクフリーレート/ 翌日物 金利スワップ | 金融商品の時価を算出する際の専門用語です。リスクフリーレートとは、 リスク（損失）が無いであろう金融商品の金利のことです。 翌日物金利スワップとは固定金利と変動金利の翌日物レートを するスワップ取引のことで、「OIS」とも呼ばれます。 |
| HACCP（ハサップ） | 食品を製造する際に、工程上で危害を起こす原因を分析し、それを最も 効率よく管理できる部分を連続的に管理して安全を確保する管理手法の ことです。 |

| | |
|-----------------------------|---|
| スマイルサポーター | JA 各支店の窓口で主に自動車共済に関する保障内容のご相談、普及・推進活動を担当する窓口係。JA の顔として組合員・利用者の皆さまを「笑顔」でお迎えし、「笑顔」でサポートいたします。 |
| 積立 NISA (ニーサ) / iDeCo (イデコ) | 長期の積立・分散投資を通じた資産形成を後押しするために創設された税制優遇制度です。毎年 40 万円まで投資することが可能で、最長 20 年間、投資から得た利益が非課税となります。iDeCo (イデコ) は、個人型確定拠出年金のことであり、自分で作る年金制度です。加入者が毎月一定の金額を積み立て、あらかじめ用意された定期預金・保険・投資信託といった金融商品で自ら運用し、60 歳以降に年金または一時金で受け取ることができます。 |
| ファイナンシャルプランナー | 顧客である個人から、収支・負債・家族構成・資産状況などの情報提供を受け、それを基に住居・教育・老後など将来の人生設計に即した資金計画やアドバイスを行う職業・職種、およびその職に就く者。略して FP とも呼ばれます。 |
| 三線管理態勢 | リスクマネジメント体制を整備する上での考え方。役割の異なる 3 つの防衛線に対処し、3 段階の体制でリスク対応を行うという手法。第 1 ラインは現業部署管理者による内部統制、第 2 ラインは現業部署と独立する間接部門 (リスク管理部署・コンプライアンス担当部署) による内部統制、第 3 ラインは内部監査部門による内部監査となります。 |
| PDCA サイクル | Plan(計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善) を繰り返すことによって、生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法のことです。 |
| ガバナンス | 「統治」を意味する表現で、ビジネス分野では管理体制を構築し、組織内部を統治して、組織運営上のあらゆるリスクを減らすといった意味合いを含む表現として用いられています。 |